

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	健康づくりセンター保健施設管理運営業務委託事業				開始年度	平成19年度	
基本目標	持続可能な財政基盤の構築				終了年度		
担当課(局)	健康福祉課	担当係	健康推進係	記入者	鳥取 真弓	評価者	井上 敏郎
21年度決算	546	千円	22年度予算	629	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	0千円		22年度人件費	0千円		事業従事者数	人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	時間外及び休日の健康づくりセンター管理、利用者への対応。
事業の内容	委託料を月額固定制から実績に基づく出来高払いとし、平成20年度からは使用申請時間の前後30分を含めた時間の委託とする。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 管理委託時間	最小限の委託時間にすることで、委託料が削減できる。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 管理委託件数	住民の時間外及び休日の施設利用件数
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	管理委託時間	目標値			
		実績値	時間	566	669
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	管理委託件数	目標値	件	159	200
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	事業廃止すると、時間外及び休日の施設利用ができなくなり、利用者の減少が予想される。 また、公的施設であるので町が管理運営することが妥当である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	管理人を置くことで、住民の時間外及び休日の施設利用が可能である。 必要最小限の委託時間なので、これ以上の改善の余地はない。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	必要最小限の委託時間となっているので、これ以上の削減の余地はない。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	なし

事務事業名	健康づくりセンター保健施設管理運営業務委託事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-------------------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	指定管理者制度の導入の中で、おのずと解決される課題である。当面現状を維持する。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			
				現状維持		○	
				縮小			
				廃止			
	廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト							

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎事業運営等は、指定管理者制度への移行など、よく研究して進めていただきたい。 ◎最低限の経費で行っており削減の余地はないと思われる。 ◎健康づくりセンターは、町民に開かれた施設としていつも開館しているのが望ましい。なるべく予算をかけずに実施していくための検討が必要ではないか。
	コスト	現状維持	